

重要文化財「彫金後藤家関係資料 分銅」保存修理事業完了のご報告

本学が所蔵する重要文化財「彫金後藤家関係資料」の修理が、令和4年度の文化庁国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、東京都文化財保存事業費補助金、台東区国指定文化財保存事業費補助金の交付を受けて行われました。これに伴い、当館が管理する「彫金後藤家関係資料 分銅」13点の収納箱を新調しました。

修理以前の収納箱は分銅用に作られたものではなく、側板や仕切りが破損していましたが、今回の修理で展示機能を備えた保存性の高い収納箱を製作したことで、大小複数の分銅が散逸することを防ぐとともに、分銅に触らずに展示できるようになりました。



修理以前の収納箱



新たに製作した収納箱。分銅の形に合わせて土台を落とし込んだピロードの台を作成し分銅を固定した。



分銅の台は展示時に鑑賞に適した傾斜がつけられる仕様とした。

【令和4年度修理対象資料】

「重要文化財 彫金後藤家関係資料」一括のうち「目録番号 546 大福留之帳他 1冊」（大学図書館保管）、「目録番号 547 日記 1冊」（大学図書館保管）、「分銅 13点」（大学美術館保管）

【事業体制】

補助事業者 国立大学法人東京藝術大学

請負事業者 株式会社 半田九清堂



本事業は、文化庁美術工芸品国宝・重要文化財保存修理抜本強化事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。
Supported by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan in the fiscal 2022